

若浜の子ども



令和6年5月30日 第2号

「先輩フライド」で創る 学校文化と秩序！ ～下級生からまねされることを意識して～

新しい年度の生活が始まって2ヶ月たとうとしています。これまでの期間、「よき手本を示そうと自分を奮い立たせる上級生」と「よい行動を真似していこうとする下級生」の素敵な行動にあふれていました。前号では、最高学年の6年生の行動を中心に紹介させていただきましたが、学校生活を見渡してみると他の学年もたくさんの「後輩に教え伝える活動」がありましたので、紹介したいと思います。

- 1年生を全校ぐるみでお世話する強調月間の設定により、上学年の子どもたちの「大人化」につながっています。
「手をつないで入学式入場」「そうじの仕方を教える」「濡れた雨具をふいてあげる」「教室に入ってからのお世話」「迎える会の準備」…この優しさは、1年生が上の学年になったときに、同じ行動で表されていくのでしょうか。
- 「学校探検案内（2年生が1年生を）」「読み聞かせ（2年生が1年生に）」「交通安全教室（2年生が1年生に）」など、上級生が下級生の面倒を見ながら、共に成長する様子が見られます。
「ここは廊下だから、静かに通るんだよ」「（図書室で）本はきちんと並べて返してね」…2年生が小さな先生として教えている様子が、とても頼もしく感じられます。
- 4年生「そうじ委員会」（創意的係活動）に表れている「高学年にあこがれ、まねしていこうとする意識」<高学年ごっこ>…高学年の皆さんにとって、「自分たちの姿」が鏡のように下級生のよい行動に表れていくのはうれしいことです。
- 今年の「情報発信ニュース」（情報発信委員会）も勢いがついてきました。昨年度の委員会メンバーが始めた番組作りの楽しさを見事に受け継いでいます。若浜小のよいところや広めたいことを探し出そうとする意気込みや上手な話し方は、下級生のあこがれとなっています。



私たち大人の姿で「子どもたちのあたりまえ」を レベルの高いものにしていきましょう

先日、学童に迎えに来られたご家族が帰るときに、私も帰宅のタイミングがいっしょになり、こんなあいさつのやりとりがありました。

(お父さん) 「ほら、校長先生だよ。あいさつしようね。」

(親子いっしょに) 「さようなら。」

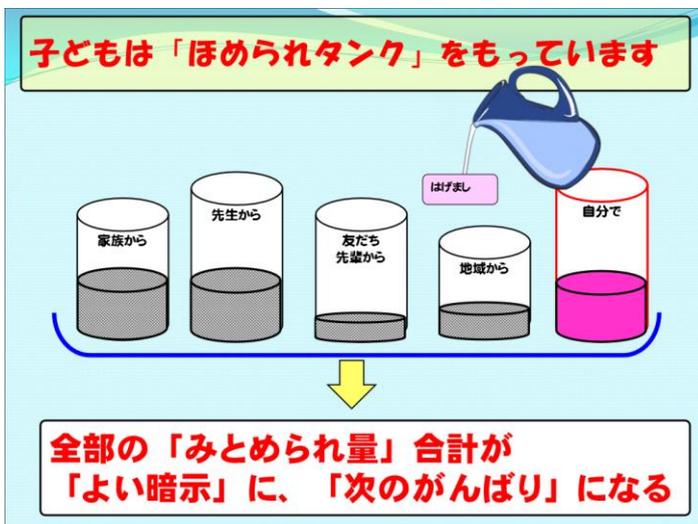
(校長) 「さようなら。気持ちのよいあいさつ、ありがとうございます。」

ちょうど、PTA総会が終わった1週間後くらいだったのですが、「こういう時は、きちんとあいさつするんだよ」と、促してくれている様子を見て、「幸せになる大切な技」や「子どもにとってのあたりまえ」を教え導いてくださっていると感心したところです。

PTA総会では、こんなお話をさせていただきました。

- ①「子どものほめられタンクにいろんな立場の人から注いであげて、よりよい教育的暗示をかけていきましょう」
- ②「周りの大人(先輩たち)がよりよい行動を示すことで、子どもはまねをして、生き方のあたりまえがつくられていく」

→大人という「人生の先輩プライド」をどれだけ持っているかも大切なのですね。



<子どもたちのあたりまえがレベルアップしていると感じる場面>

- ・元気にあいさつしている子たちに感想を聞くと「あいさつしないと、なんか気分がすっきりしない」と、あいさつすることが習慣(あたりまえ)になっている様子が見られます。
- ・ほめられた後に「ありがとうございます」と言う子が多くなってきました。
- ・「絶対に相手の心を傷つけることはしない」と考える子どもが多くなってきました。
- ・「正しいトイレの使い方」「きれいな校舎の保ち方」を心がける行動が、多くなってきました。